

平成30年第2回定例会（9月議会）

予算特別委員会教育公安分科会
教育公安委員会提出資料
（予算及び付託議案審査関係資料）

平成30年9月14日

教 育 委 員 会

目 次

総務課施設整備室

- ・（新）県立学校施設等安全対策事業 1
- ・工事請負契約の締結について（議案第188号） 2

特別支援教育課

- ・特別支援学校スクールバス整備事業 3

生涯学習課文化財保護室

- ・世界遺産－縄文ルネサンス－事業 4

(新) 県立学校施設等安全対策事業

総務課施設整備室

1 概 要

県立学校及び教育機関のうち、現行基準に適合しないブロック塀等を有する17施設の安全対策を実施する。

2 補正予算額

37,837千円 (Ⓔ13,000千円 ⊖24,837千円)

3 内 容

(1) 安全対策の方針

対象となる17施設のうち、ブロック塀等の撤去又は簡易な再整備を行う箇所については、今年度中に対策を実施し、再整備に際し設計委託が必要となる箇所については、今年度の実設計を行い、平成31年度に対策を実施する。

(2) 対象施設及び対策内容

不適合項目	施 設 名	対策内容
基準の高さを超えている (組積造1.2m以下)	旧大館桂高校、横手支援学校 (比内支援学校*)	全面撤去
	角館高校定時制	撤去・改修
基準の厚さが不足している (高さ2m超の厚さ15cm以上)	能代松陽高校	撤去・再整備
	秋田北高校	撤去・改修
基準の鉄筋間隔等を満たしていない(縦横80cm以下の間隔で配置)	西目高校	全面撤去
	能代西高校、横手城南高校	撤去・改修
	大館鳳鳴高校、栗田支援学校、 県立図書館	撤去・再整備 (H30設計)
基準の控え壁の間隔等を満たしていない(間隔は3.4m以下)	能代工業高校	撤去・改修
	秋田高校、秋田工業高校、 大曲農業高校、大曲高校、 大曲工業高校	撤去・再整備 (H30設計)

※ 比内支援学校については、現在施工中の解体工事で今年度内に撤去する。

工事請負契約の締結について（議案第188号）

総務課施設整備室

予定価格が5億円以上である比内支援学校校舎棟他建築工事請負契約の締結については、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和39年秋田県条例第32号）第2条の規定により、議会の議決を経る必要がある。

1 建物の概要

工事対象	構造・階層	建築面積	延べ面積
校舎棟	鉄筋コンクリート造2階建	3,291㎡	5,865㎡
車庫・倉庫棟	鉄骨造平屋建	238㎡	238㎡

2 契約の概要

(1) 契約名称

比内支援学校校舎棟他建築工事

(2) 契約の相手方

花岡・伊藤羽州・丸山・平和特定建設工事共同企業体

(3) 契約金額

1,095,120,000円

(4) 契約工期

平成31年12月10日まで

(5) 仮契約年月日

平成30年8月7日

（参考）比内支援学校整備事業の概要

事業内容：比内支援学校校舎の全面改築

事業費：約30億円

工事期間：平成30年度から平成34年度まで

平成30年度の計画：校舎棟他の新築

特別支援学校スクールバス整備事業

特別支援教育課

1 概 要

経年劣化が著しい天王みどり学園の小型スクールバスを更新する。

更新の対象となるバスは、男鹿方面の沿岸部を走行するため塩害による腐食が激しく、走行距離も43万kmを超え、直近の車検時にはエンジンの劣化や車体の緩み等を指摘されるなど、今後も修繕費の増加が見込まれる。

このため、当初の計画である平成31年度中の更新予定を繰り上げて平成30年度中に更新する。

2 補正予算額

10,019千円（ \ominus 10,019千円）

3 内 容

昇降リフト付マイクロバス 1台

(1) 乗車定員 20人

(2) 更新計画

①発注予定 10月下旬

②納車予定 3月下旬

③運行開始 4月上旬

(3) 主な装備

①バックアイカメラ・モニター

②乗降中注意灯

③学校名デザイン施工

※ 参 考（現在の状況）

登録年月日 平成15年3月20日

走行距離 約433,261km（平成30年8月末現在）

点検修繕費 475,678円（平成29年度）

世界遺産－縄文ルネサンス－事業

生涯学習課文化財保護室

1 概要

7月19日に開催された文化審議会世界文化遺産部会において「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産推薦候補に選定されたことから、引き続き4道県等で本登録を目指し、国内外での認知度向上と気運醸成を図る。

2 補正予算額

5,952千円（⊖5,952千円）

3 内容

(1) 英文作成ワーキング（11月頃実施予定）

本年5月の国際会議で、資産価値説明に係る英文表現を検討するよう指導があったことを受け、国際的な説得力を有する精度の高い推薦書とするため、国内外の専門家を招聘し、英文表現を重点的に検討する。

(2) 海外プロモーション活動（11月頃実施予定）

縄文遺跡群に対する海外での認知度向上及び理解促進を目的に、平成30年7月からパリ市内で開催されているジャポニスム2018の縄文展（10月～12月）に合わせ、ユネスコ関係者を表敬訪問するとともに、講演会及び展示会を開催する。

※登録に向けた今後のスケジュール（予定）

平成30年度：国からユネスコ世界遺産委員会への推薦書提出

↓

平成31年度：イコモス（国際記念物遺跡会議）の現地調査

↓

平成32年度：ユネスコ世界遺産委員会での審査・登録